

2022年度第1回 ECC コンピュータ専門学校 学校関係者評価委員会報告書

学校法人山口学園 ECC コンピュータ専門学校 学校関係者評価委員会は、2022年8月24日に「2021年度自己評価報告書」に基づいて学校関係者評価委員会を実施しましたので報告致します。

学校法人 山口学園
ECC コンピュータ専門学校
学校関係者評価委員会

1 開催日時:2022年8月24日(水)18:30~20:30

2 場 所:ECCコンピュータ専門学校 (2301教室)

3 参加者 :

- 関連業界等関係者1名 【インフォームシステム株式会社 常務取締役 伊藤 裕一 様】(司会)
【株式会社アコードセブン 代表取締役 野間 伸治様】(欠席)
- 卒業生2名(関連企業) 【ヤフー株式会社 小橋 勇太 様】
【株式会社SNK 谷 優 様】
- 保護者1名 【田中 かおる 様】
- 高等学校関係者1名 【高校教員 貴治 康夫 様】
- 地域関係者1名 【済美地域社会福祉協議会 中上 隆 様】
- 学校関係者 【学校長 納谷 新治】
【副校長・教務課責任者 伊澤 幸徳】
【入試課責任者 下西 智也】
【キャリアセンター責任者 池田 宗人】(欠席)
【広報課 岸 岳澄】(書記)

▷冒頭

(納谷)

学校関係者評価委員会とは、ECC コンピュータ専門学校が健全な学校運営と教育活動が行われているか、コンプライアンスのチェックを行うため、各関係者様からご意見を頂く場になります。

なお、今回から新たに卒業生の谷様、小橋様にご参加いただいております。

それでは、よろしくお願いいたします。

▷2021年度事業報告

(納谷)

2021年度はコロナ禍の影響を大きく受け、緊急事態宣言の発令もあり授業は分散登校にて行いました。

また、年度内の陽性者は86名となります。

2021年度入学者は413名(前年比80.9%)。こちらもコロナ禍の影響が大きく、休校、オープンキャンパスの中止、広報活動の自粛など、入学検討者との接触機会が減少したことが原因と考えられます。ただ、4年制コースの在籍比率が高いこと、継続率が92.1%であったことから、総在籍者数は増加の1402名(前年比101.1%)となりました。

学修成果においては、IT カレッジ学生が技能五輪全国大会(Web デザイン部門)銀賞受賞、全国専門学校セキュリティコンテスト優秀賞受賞という結果に。企業連携授業、作品発表会はコロナ禍ということもあり、規模縮

小とオンライン化が増えましたが、開催頻度はコロナ以前と変わりなく行っておりました。

セブ島 IT 留学は 2 年連続でオンラインにて実施。また英語の選択科目を増やしたこともあり、日本人学生 5 名が TOEIC600 点以上を獲得することができました。

進路面におきましては、コロナ禍でも企業の採用活動は活発であったものの、大学生の同業界へのエントリーが増加しており競争率が上昇。結果として、ゲーム・CG、IT 分野で業界就職率は若干減少傾向が見られます。

自己評価報告書に関してはここから

(伊藤)

自己評価報告書に関しては、項目数が膨大であるため、各基準ごとに要点を絞って担当者から報告をお願いいたします。

▷基準1 教育理念・目的・育成人材像

(納谷)

人間力育成をより強化するために、2021 年度に IT 開発エキスパートコース 1 年次から初年次教育という社会人基礎研修を前期 15 コマ行いました。

質疑応答

質問(小橋)

社会人基礎研修とは何を行いますか？

回答(納谷)

15 コマのうち半分は、グループワークでの人間関係構築と、基礎学力の測定、学習意欲の確認。

もう半分は、「7 つの習慣 J」と呼ばれるビジネス研修を基盤にして、自己肯定感の育成、学習の動機づけ、他者理解などの力を身に付けていきます。

質問(小橋)

私の在籍時は 3 年次頃からそのようなことを行っていたのですが、今後はそういった研修は低学年時から行う予定ですか？

回答(納谷)

はい。特に IT カレッジには入学理由や学習動機が弱い学生もいるため、それらの改善も期待して 1 年次から行うようにしました。

質問(貴治)

学生からの評価はいかがですか？

回答(納谷)

肯定的な評価は多く「友人が出来た」「学習のモチベーションが上がった」などのコメントも見受けられ、一定の成果は得られたと考えています。

意見(貴治)

最近の教育では、学生の自己肯定感、自己有用感を中心に据えることが大切になってきていると感じます。

▷基準2 学校運営

(納谷)

教職員間での情報共有の機会を増やしました。

特に、8 月と 3 月に運営報告会を行い、学校での取り組みにおける進捗状況の共有、各月単位で学生募集状況、就職内定状況、各カレッジにおける学習成果の共有を行うようにしました。

また、非常勤教員と契約更新の際に希望制で面談を実施し、コミュニケーションの機会を増やしました。

質疑応答

質問(伊藤)

学校から教員に対して評価を行うような面談は行われていますか？

回答(納谷)

専任教員には、目標管理にて定めた評価基準に対しての結果を数値化し、年 2 回面談を行っていました。ただ、非常勤教員に対してはこれまで面談などは定期的には行われておらず、コミュニケーションにおいて課題を感じています。

質問(貴治)

非常勤教員と専任教員の在席数を教えてください。

回答(納谷)

専任教員が約 60 名 非常勤教員が約 40 名 となります。

質問(小橋)

非常勤教員とのコミュニケーションが課題とは具体的にどのような部分ですか？

回答(納谷)

非常勤教員は出勤日数が少なく全体で集まる機会も年に 2 回のみ。必然的に専任教員よりコミュニケーションをとる回数が少なくなり、学校への帰属意識があまり持たれていない部分が課題です。

意見(貴治)

非常勤教員とのコミュニケーションが不足していると、授業内容に大きな問題は出てこないものの、学生個々の状況が伝わっていないこともあり、個別対応が難しくなるという問題が起きることもあります。

質問(貴治)

専任教員と非常勤教員で授業運営を行う体制とのことですが、現状問題は起きていますか？

回答(納谷)

授業は問題なくできていますが、学生アンケートでは非常勤教員の授業評価が専任教員の授業評価と比べて低い傾向にあります。非常勤教員へ情報共有が出来ていないことが、学生対応の質を低下させ、評価が低くなっているのかと推測しています。

▷基準3 教育活動

(伊澤)

ポリシーの浸透を目的に、コース・学年別のカリキュラム、卒業までのカリキュラムフローを HAND BOOK に掲載し、オリエンテーションでの説明を実施しました。

また、より良い授業を行うため教育課程編成委員会とともに毎年カリキュラムの改善を行っています。

他にも、教員による授業見学会の対象授業を非常勤教員まで拡大し授業力向上に努めています。

教育活動における学習成果として、コンテストでの受賞実績は下記の通りになります。

技能五輪全国大会(Web デザイン部門) 銀賞受賞

全国専門学校セキュリティコンテスト 優秀賞受賞

Klab Creative Fes CG ムービー部門 特別賞

質疑応答

質問(貴治)

専門学校セキュリティコンテストとはどういったコンテストでしょうか？

回答(伊藤)

専門学校以外の学校も出場する規模の大きいコンテストで、ネットワークトラブルなどへの対応力を競います。近年では必須とされるネットワークやクラウドといった分野の技術力が試されます。

質問(田中)

大会出場は学年を問わず、出場意思のある学生が出るのでしょうか？

回答(納谷)

はい。学年を問わずにチームを組み、出場します。

特にサークル活動内で結成したチームで出場することが多くあります。

質問(谷)

教育課程編成委員会とは何ですか？

回答(納谷)

ゲーム・クリエイティブカレッジの場合だと、現在様々なゲーム会社から 7 名の方に委員として参加頂いており、カリキュラムへのアドバイスなどを頂いております。

▷基準4 学修成果

(納谷)

同業界を目指す大学生との競合が増加しており、求人は増えているものの、就職率の増加は厳しい状況です。コロナ禍で、直接卒業生と交流できる機会が減りましたので、2022 年度は社会状況次第で交流会などを開催していきたいと考えています。

質疑応答

質問(納谷)

卒業生としては、交流会開催への意見を頂けますか。

回答(谷)

展示会などで学生作品があればぜひ参加したいと考えています。

質問(貴治)

2021 年度の就活はオンラインと対面どちらが多いですか？

回答(納谷)

オンラインが多数です。また、オンラインでは地方の学生も移動コストをかけずに様々な企業に挑戦できるので、結果として競争率が厳くなったと感じています。

▷基準5 学生支援

(伊澤)

オンライン面接の増加に伴い、テレキューブを 5 台導入しました。

学生の継続率は 94.7%と年々良化しております。特に経営情報学専攻という新専攻を設けたことで、ゲーム・IT の専門学習に疲弊した学生に対して、新たな学習の選択肢を用意することで、セーフティネットの役割を持たせています。

また、ピアサポート制度という、先輩学生が後輩学生の学習をサポートする制度により、さらなる学習支援の充実を図っています。

留学生の在席が 200 名まで増加しました一方で、留学生、日本人学生ともに経済的に困窮している学生が増加した傾向にあります。

保護者会の出席率は 40%前後で推移しており、オンライン実施、電話実施などでも対応を進めております。

質疑応答

質問(貴治)

中途退学者の退学理由を教えてください。また、何年次での退学が多いですか？

回答(伊澤)

メンタル的な問題、学習意思喪失などがです。また、1 年次での退学が一番多く、特に前期から後期へ変わるタ

イミグと1年次が終わるタイミングに多い傾向があります。

質問(伊藤)

新規専攻である経営情報学専攻の学生の就職への意識はいかがですか？

回答(伊澤)

まだ、就職年次の学生がいらないため結果は出ていませんが、学習の様子を見ていると経営情報学専攻への転科により新たな目標を見つけて学習している学生が多くいます。

企業セミナーでも、学生から企業の方へ就職関係の質問なども多く出ているので、就職への意識は高いと感じます。

質問(小橋)

経営情報学専攻は1年次から入学できますか？

回答(納谷)

いいえ。2年次から転科する形になります。

IT活用型人材としての育成がコンセプトの専攻ですので、1年次で基礎的な学習を行い、その後、非開発職かつコンピュータに関わる職業を目指しています。

質問(小橋)

経営情報学専攻の就職先などは探されていますか？

回答(納谷)

すでにカスタマーエンジニアやCAD技術者の求人は多くあるので、新規で就職先の開拓は行っておりません。

質問(貴治)

留学生200名在席とは、ECCコンピュータ専門学校のみでの在籍数ですか？また、多い国籍は？

回答(伊澤)

はい、ECCコンピュータ専門学校のみでの在籍数です。

国籍はベトナムが増えてきているのを中心に、インドネシア、中国など東南アジアの留学生が多くいます。

▷基準6 教育環境

(伊澤)

4号館を新設しました。また、テレキューブの導入や有線LAN設備強化を行いました。

質疑応答

意見(貴治)

火災などの際の対応はどのようにされますか？

回答(伊澤)

年に数回、防災訓練を行っており、常日頃から防災意識を高めています。

▷基準7 学生の募集と受け入れ

(下西)

コロナ禍で外出が自粛されていたため、オンラインイベントを強化して募集活動を行いました。

しかし、対面イベントと比較するとオンラインで伝えられる情報は少なく、今後はオンラインでも対面と同じレベルでの情報提供方法を考える必要があると感じています。

高等教育の就学支援制度に関して、今後は進学希望者への情報提供をより明確にする必要があることが課題と捉えています。

質疑応答

質問(小橋)

オンラインイベントからの入学者と対面イベントからの入学者の割合を教えてください。

また、コロナ禍前後でオンラインイベントに何か変化はありましたか？

回答(下西)

オンラインイベント参加者も、最終的には対面イベントにも参加してから入学されることが多いです。

質問(小橋)

今後オンラインイベントの位置づけはどのように考えていますか？

回答(下西)

対面イベントと同じクオリティ、同じ情報量を提供できるイベントとして確立させるために、現在内容を模索しているところです。

▷基準 8 財務

(納谷)

HPに情報公開として学園全体の財務状況を掲載させていただいておりますので、割愛させていただきます。

▷基準 9 法令等の遵守

(伊澤)

ハラスメント相談窓口を定めて、運用を開始しております。

マイクロソフトのアカウント乗っ取りなどが希に起こるので、対応が課題です。

自己評価報告書に関してはここまで

閉会のご挨拶

(伊澤)

お忙しいところご参加いただきまして誠にありがとうございました。

第 2 回は 2023 年 2 月開催を予定しておりますので、改めてご案内をお送りさせていただきます。

以上